

会議名 神奈川交運労協第30回定期総会  
日時 2022年11月25日(土)14:00~  
場所 ナビオス横浜  
出席者 9名

神奈川交運労協は、ナビオス横浜にて『第30回定期総会』が開催され、各産別から36名の代議員、運輸労連からは、9名が出席しました。

長瀬(国労神奈川)副議長より、開会宣言がされ、議長には斎藤代議員(JP 労組)が選出されました。



宍戸議長は、「コロナ禍の中でも、通常の運動に負けないだけの活動をして来た。今期も、政策・制度を中心に取り組み、神奈川県を中心に各政令市への提言、各経営者協会への提言も行ってきました。業界や業種により難しい課題もあるが、引き続き解決に向け取り組む」と力強く述べました。

関東交運労協より、上岡議長が激励のあいさつがされました。



小笠原事務局長より、2021年度会務報告。

高橋事務局長より、2021年度決算報告。

外崎会計監査より、会計監査報告がそれぞれされ、それぞれ拍手にて確認されました。

審議事項として、第1号議案:2022年度活動方針(案)について、小笠原事務局長より提案され、賛成多数にて可決されました。



交通運輸産業が抱える課題として、1.鉄道部会 2.バス部会 3.ハイタク部会 4.物流部会よりそれぞれ提起されています。

新年度の活動目標について「交通政策要求実現 地域交通改善運動2023」を中心に取り組む。組織強化として、年6回の幹事会を中心に各産別からの実態報告や意見交換など現場実態に合わせた活動方針が確認されました。



第2号議案:2022年度予算(案)について、高橋事務局長が提案され、可決されました。

第3号議案:2022年度役員体制(案)を、坂本選挙管理委員長より提案され、可決されました。

新議長に菊本(神奈川県私鉄)氏が選出されました。

長瀬前副議長、宍戸前議長が退任されそれぞれ挨拶がされました。

役員の自己紹介の後、菊本新議長より新役員を代表し挨拶がされ、新議長の音頭で『団結ガンパロー』にて終了しました。

横浜地区連絡協議会  
神奈川交運労協 第30回定期総会レポート

2022年11月25日(金)16:00 からナビオス横浜において神奈川交運労協第30回定期総会が開催された。

助川副議長の司会挨拶から始まり、代議員44名中36名、役員23名中18名の出席を確認した。ちなみに運輸労連は代議員数13名中9名の出席であった。総会議長にはJP 輸送の斎藤氏が選出された。

宍戸議長からの挨拶では、これまでコロナ禍でありながらも諸活動への協力に対する感謝の意、また交通運輸産労働者の労働環境の改善 向上への取り組みなどが語られた。

来賓である関東交運労協上岡議長からは政策制度要求行動を中心とした取り組みについて話された。

以降、2021年度会務報告、2021年度会計決算報告、2021年度会計監査報告が承認された。続いて、2022年度活動方針(案)、2022年度予算(案)、2022年度役員体制(案)と全て承認された。

役員体制については、宍戸議長が退任され、新たに菊本議長(神奈川県私鉄)が就任された。

運輸労連からは、亀崎委員長が副議長、高橋書記長が事務局次長、望月書記次長が幹事に選出された。

菊本新議長による団結ガンバローにて17:20に閉会となった。

(全日通 中野一徳)

